



6・8709)。
9・0770)。
(072・76
または、同町役
場農林商工課
(072・76
6・8709)。

ある。ここにある口径50cmの反射式天体望遠鏡は、肉眼の約50000倍の集光力。土星の輪、火星や金星の模様はもちろん、肉眼では見ることのできない約15等級の星まで観察できる。パソコン制御で、モニターに映し出された星座板で見たい星をクリックするだけで自動的にとらえてくれる。

午後7時過ぎ、東の空に上がって

きた。火星は肉眼でも見ることができた。望遠鏡で観測すると手に取るよう大きくなっている。水平線に近い高度では、大気層が厚く影響を受けるからだ。だが、途中から小雨が降り出し、せっかくの火星も雲の中に隠れ参加者はガッカリ。

プラネタリウムで火星を見るここに

03年8月の大接近に続いて先月30日、2年2ヶ月ぶりに火星が地球に接近した。猪名川天文台「アストロピア」(同町柏原字尾野ケ嶽)でも火星大観望会が開かれたので、にわか天文ファンになって出かけた。同天文台は02年4月にオープン。1階にはデジタルプラネタリウム、2階には直径6mの観測室ドームが

猪名川天文台・アストロピア

阪神間から車で約1時間と便利なため来場者は年間約6000人。火 星大観望会は26日にも行われ、年明けから4月ごろまでは土星を観察することができる。

猪名川町役場から県道川西・篠山線を北上。開館日は毎週木曜日曜、祝日の午後1時半から午後9時半まで。高校生以上200円。中学生以下無料。問い合わせは同天文台(072・769・0770)または、同町役場農林商工課(072・766・8709)。



写真・文 山田哲也

□□□15

はんしん@アストロ

標高740mの天文台に設置された、口径50cmの反射式天体望遠鏡。ホームページ(<http://www.town.inagawa.hyogo.jp/sisetu/Astropia/>)でも、観察会の情報を提供している。

猪名川から宇宙への旅!

